

「福島スタディツアー」を実施しました

宮崎第一中学校
宮崎第一高等学校

若い時に経験したことは、その後の成長に大きな影響を与えます。本校在学中にそんな経験をたくさんしてほしいと考え、2泊3日の福島スタディツアーを企画しました。

東日本大震災からからずいぶん時間が経過したのにも関わらず、いわゆる「浜通り」といわれる地域にはいまだに時間が止まったままのところが数多く存在します。「原発」問題が絡んでいるので、住民の帰還も町の開発も簡単にはいかない事情があります。そんな中で、復興に向けて真剣に動いている大人や現地の学生との交流を通して、世の中の問題を「自分ごと」として捉え、考える目を養ってほしいという狙いがありました。

今回のツアーに参加したのは、中1から高2まで110名の希望者です。探究のテーマごとに組んだグループで、フィールドワークやワークショップ、研修後の発表を行いました。学年や男女関係なく組まれたグループでしたが、皆積極的に話し合い、よく協力していた様子に目を見張りました。福島の問題は宮崎でも起こりうると真剣に受け止め、今も残る課題やジレンマについて考える一方で、前向きに生きる人たちや新しい技術に希望を見出すなど、大きな学びを得た3日間となりました。



「福島スタディツアー」を実施しました

宮崎第一中学校
宮崎第一高等学校

